2.1 - 設定画面の呼び出しと終了

2.1.1 設定画面の呼び出し

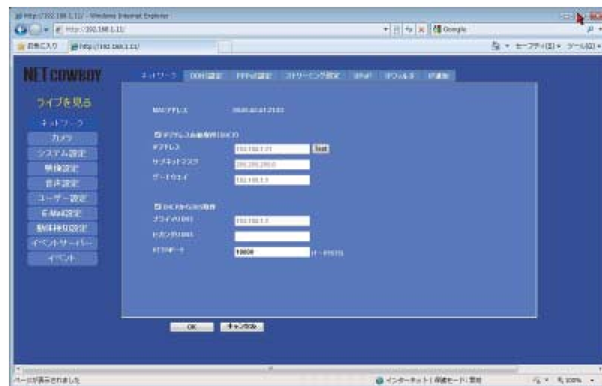
①ブラウザのアドレス欄に、本機に設定された IP アドレスを入力します。

②ブラウザ閲覧画面左側の『設定』アイコンをクリックします。



2.1.2　設定画面の終了

①設定画面左上の『ライブを見る』をクリックします。



②設定画面を終了してブラウザ閲覧画面に戻ります。



2.2 - ネットワーク設定

2.2.1　IP アドレスと DHCP の設定

『ネットワーク』タブでは IP アドレスと DHCP の設定、ブラウザ閲覧画面に使用する TCP ポートの設定を行う事ができます。



● IP アドレスを自動取得（DHCP）

チェックボックスにチェックを入れると、ネットワーク上の DHCP サーバーから IP アドレスを取得して設定します。

※製品の性質上、固定 IP アドレスでの運用を推奨します。

※本機に固定 IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク管理者より適切な IP アドレスを取得して設定してください。不適切な IP アドレスを設定した場合、ネットワーク全体に障害が発生する場合があります。

● IP アドレス

本機に設定する IP アドレスを入力します。

※ IPv6 には対応しておりません。

●サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

●ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

● DHCP から DNS 取得

チェックボックスにチェックを入れると、DHCP サーバーから提供される DNS 情報を使用します。

●プライマリ DNS

ネットワーク管理者やプロバイダから指定されたプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

●セカンダリ DNS

セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

● HTTP ポート

ブラウザ閲覧画面へのアクセスに使用する TCP ポートを、1 〜 65535 の範囲内で変更することができます。

※工場出荷時の HTTP ポートは 80 です。

※ TCP ポートにはウェルノウンポートや予約済みポートな

ど、予め何らかの役割が割り当てられているものがあり、不適切なポートを設定した場合ネットワーク全体に障害が発生する場合があります。初期設定以外のポートを設定する場合は、ネットワーク管理者より適切なポートを取得して設定してください。

※ポートを 80 以外に変更しば場合は、本機のブラウザ閲覧画面にアクセスする際に IP アドレスに加えてポート番号を指定する必要があります。

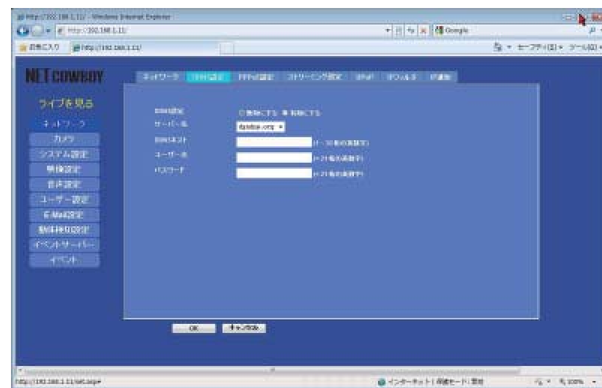
例）192.168.1.10:10000

※コロン（：）以降にポート番号を入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.2　DDNS 設定

『DDNS 設定』タブでは、DDNS 機能に関する設定を行うことができます。



※本機の DDNS 機能は dyndns.org にのみ対応しております。dyndns.org 以外の DDNS URL や、他の DDNS サービスプロバイダには対応しておりません。

※ dyndns.org は DynDNS®.com により提供されている DDNS アドレスの一つであり、弊社が運営・提供しているサービスではありません。

※本機には DynDNS®.com および dyndns.org へのサインアップ機能は搭載されておりません。本機の DDNS 機能を使用する場合は、事前に DynDNS®.com への登録を行って

ください。

● DDNS 設定

無効にする：DDNS 機能を使用しません。

有効にする：DDNS 機能を使用します。

●サーバー名

※ dyndns.org 以外選択できません。

● DDNS ホスト

dyndns.org で登録・取得したホスト名を入力します。

●ユーザー名

dyndns.org に登録したユーザー名を入力します。

●パスワード

dyndns.org に登録したパスワードを入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.3　PPPoE 設定

『PPPoE 設定』タブでは、本機を直接 PPPoE ネットワークに接続するための設定を行うことができます。

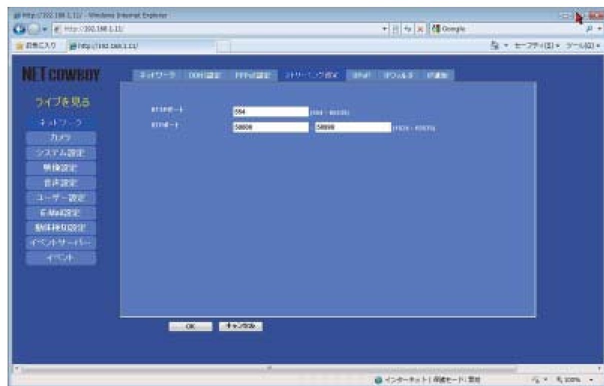


※本機を接続するネットワーク上に設置されたルーターなどにより PPPoE への接続設定が行われている場合、本機の PPPoE 設定を行う必要はありません。

各項目にプロバイダなどから指定・通知された情報を入力して、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.4　ストリーミング設定

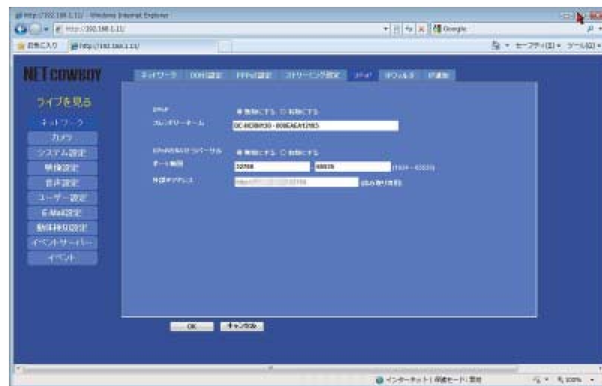
『ストリーミング設定』タブでは、RTSP / RTP ポートの設定を行う事ができます。



必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.5　UPnP

『UPnP』タブでは本機の UPnP 機能に関する設定を行う事ができます。



● UPnP

無効にする：UPnP 機能を使用しません。

有効にする：UPnP 機能を使用します。

※ UPnP を有効にすると、同一のネットワーク / ワークグループに接続された PC のネットワーク / マイネットワーク画面に本機が表示されるようになります。

●フレンドリーネーム

UPnP が有効になっている場合に表示される名称を指定します。

※ PC のコンピューター名に相当します。

● UPnP の NAT トラバーサル

無効にする：NAT トラバーサルを使用しません。

有効にする：NAT トラバーサルを使用します。

※ご利用の環境によっては NAT トラバーサル機能が有効に機能しない場合があります。

※ NAT トラバーサル自体の技術的要因により、本機を接続するネットワーク上にサーバーやサーバーとして動作しているアプリケーションが存在する場合は、サーバーやアプリケーションの動作に障害が発生する可能性があります。

●ポート範囲

NAT トラバーサルで使用するポートの範囲を 1024 ～ 65535 の範囲で指定します。

●外部 IP アドレス

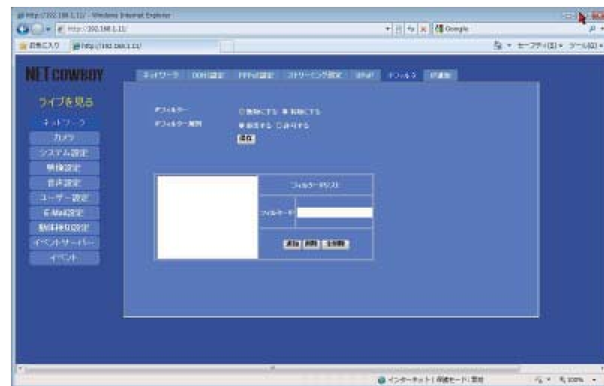
本機が接続されているネットワークの外部 IP アドレスが表示されます。

※表示のみで設定を行うことはできません。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.6　IP フィルタ

『IP フィルタ』タブでは、IP アドレスを使用して本機に対するアクセスを制限・許可するための設定を行う事ができます。



● IP フィルター

無効にする：IP フィルター機能を使用しません。

有効にする：IP フィルター機能を使用します。

● IP フィルター規則

拒否する：指定された IP アドレスからのアクセスを拒否します。

許可する：指定された IP アドレスからのアクセスだけを許可します。

※ IP フィルター規則は IP フィルター機能全体に対して適

用されます。個別の IP アドレスごとに IP アドレス規則を設定することはできません。

●フィルター IP

IP フィルター機能に登録する IP アドレスを入力します。

※ IPv6 には対応しておりません。

●追加

フィルター IP 欄に入力された IP アドレスをリストに追加します。

●削除

リスト上で選択されている IP アドレスを削除します。

●全削除

リスト上に登録されている全ての IP アドレスを削除します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.2.7　IP 通知

『IP 通知』タブでは、本機に設定されている IP アドレスや、本機が接続されているネットワークのグローバル IP アドレスの変更を検知した場合の通知方法に関する設定を行う事ができます。



※接続環境によっては IP アドレスやグローバル IP アドレス変更の検出に時間がかかったり、検出が正常に機能しない場合があります。

● SMTP 通知

無効にする：SMTP 通知を使用しません。

有効にする：SMTP 通知を使用します。

SMTP 通知を使用すると、IP アドレスやグローバルアドレス変更の検出時、指定したメールアドレスに IP アドレスと NAT トラバーサル情報を通知することができます。

※ SMTP 通知を使用するには、事前に『E-Mail 設定』で送信用に使用するメールアカウントの設定を完了する必要があります。

●送信先

通知メールの送信先アドレスを入力します。

●件名

通知メールの件名（Subject）を入力します。

● TCP 通知

無効にする：TCP 通知を使用しません。

有効にする：TCP 通知を使用します。

TCP 通知を使用すると、IP アドレスやグローバルアドレス変更の検出時､指定された TCP サーバー / ポートにメッセージを送信することができます。

● TCP サーバー

通知先 TCP サーバーの IP アドレスを入力します。

● TCP ポート

通知先 TCP ポートを 1 〜 65,535 までの間で入力します。

●メッセージ

通知するメッセージを入力します。

● HTTP 通知

無効にする：HTTP 通知を使用しません。

有効にする：HTTP 通知を使用します。

HTTP 通知を使用すると、IP アドレスやグローバルアドレス変更の検出時、指定された HTTP サーバーにアクセスしてメッセージを送信することができます。

※本機からの送出される HTTP リクエストではホスト名が省略されているため、HTTP サーバーによっては『client sent HTTP/1.1 request without hostname』として正常に処理されないことがあります。この現象を回避するため、HTTP 通知を使用する場合は Proxy サーバーを使用することを強く推奨します。

● URL

HTTP サーバーのアドレスを入力します。

※ URL は 60 文字までの半角英数文字で入力します。

● HTTP ログイン名

ログイン名が必要な場合に入力します。

● HTTP ログインパスワード

ログインパスワードが必要な場合に入力します。

● Proxy アドレス

Proxy サーバー経由でのアクセスを行う場合は､Proxy サーバーの IP アドレスを入力します。

● **Proxy ポート**

Proxy サーバーへの接続ポートを入力します。

● **Proxy ログイン名**

必要に応じて Proxy サーバーへのログイン名を入力します。

● **Proxy ログインパスワード**

必要に応じて Proxy サーバーへのログインパスワードを入力します。

● **Custom パラメーター**

HTTP サーバーに送信するカスタムパラメーターを入力します。

●**メッセージ**

HTTP サーバーに送信するメッセージを入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.3 - カメラ

『カメラ』メニューでは、映像反転機能やホワイトバランス / 露出などの画質調整と、赤外線 LED の挙動に関する設定を行う事ができます。



●**回転**

通常 / 左右反転 / 左右＋垂直反転 / 垂直反転から選択します。

●**ホワイトバランス**

自動 / 固定 / 白熱灯から選択します。

●**露出制御**

自動 / 固定から選択します。

●**電源周波数**

本機を設置する環境により、50Hz または 60Hz から選択します。

※電源周波数の設定が適切に設定されていない場合、画面の波打ち現象やノイズ、ちらつきが発生することがあります。

●明るさ

1 ～ 100 の範囲で設定します。

●コントラスト

1 ～ 100 の範囲で設定します。

●シャープネス

1 ～ 100 の範囲で設定します。

●ナイトモード

自動 / OFF から選択します。

※ナイトモードを使用すると、照度の低い環境でも映像を撮影することができますが、映像がノイズなどによりざらついた感じになったり、極端にフレームレートが低い場合のように映像がパラパラとした感じになる場合があります。

●赤外線 LED

ON / OFF / 自動 / スケジュールから選択します。

※赤外線 LED が ON になると、撮影される映像は白黒映像になります。

●現在の値

本機が設置されている環境の明るさが 0 ～ 10,000 の範囲で表示されます。『更新』ボタンを押すことで、最新の情報に更新することができます。

● IR 開放しきい値

赤外線 LED の開放しきい値を 1 ～ 10,000 の範囲で設定します。

● IR 閉鎖しきい値

赤外線 LED の閉鎖しきい値を 1 ～ 10,000 の範囲で設定します。『赤外線 LED』が『ON』に設定されている場合、本機が設置されている環境の明るさが IR 閉鎖しきい値を下回ると赤外線 LED が点灯します。

※ IR 閉鎖しきい値を低く設定しすぎると、赤外線 LED による明るさにより赤外線 LED が点灯・消灯を繰り返す現象が発生します。本機を設置する環境によって異なりますが、IR 閉鎖しきい値は最低でも 1,200 前後を指定するようにしてください。

●遅延時間

『赤外線 LED』が『ON』に設定されている場合に、明るさの変化を検出してから実際に赤外線 LED を ON / OFF するまでの遅延時間を 1 ～ 86,400 の範囲で設定します。

※設定値は秒単位となります。

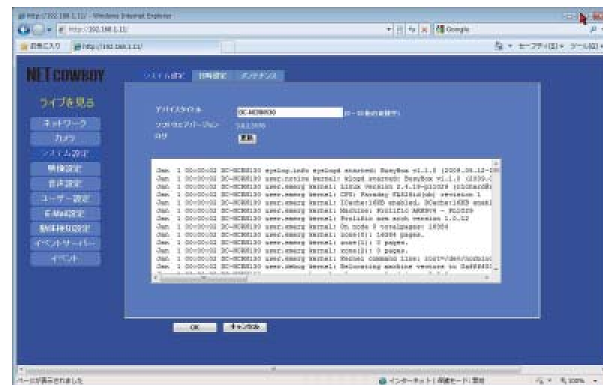
※設定した遅延時間と実際の動作には誤差が生じる場合があります。

必要な項目の設定が完了したら、画面下部の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.4 - システム設定

2.4.1 システム設定

『システム設定』タブでは本機のデバイス名を設定や、ファームウェアバージョンなどを確認することができます。



●デバイスタイトル

本機に設定するデバイス名を入力します。

ここで入力されたデバイス名は、IP Wizard Ⅱ上で表示・使用されます。

●ソフトウェアバージョン

本機にインストールされている基本ソフトウェア（ファームウェア）のバージョンが表示されます。

●ログ

本機のシステムログが表示されます。

『更新』ボタンを押すと、現在の情報に更新されます。

2.4.2　日時設定

『日時設定』タブでは、本機の内蔵時計に関する設定を行う事ができます。



●サーバー日時

本機の内蔵時計に設定されている日付・時刻を表示します。

●パソコン時間

本機に接続中の PC に設定されている日付・時刻を表示します。

●調整

パソコンと同期：本機に接続中の PC と同期します。

手動設定：日付と時刻を手動で入力して設定します。

NTP と同期：指定された NTP サーバーと同期します。

● **NTP サーバー**

必要に応じて NTP サーバーのアドレスを入力します。

● **NTP 更新間隔**

NTP サーバーと同期を行う間隔を 1 ～ 24 時間までの範囲で 1 時間単位で選択します。

● **タイムゾーン**

本機の設置環境に合わせてタイムゾーンを選択します。

● **夏時間**

無効にする：サマータイム対応を行いません。

有効にする：サマータイム対応を行います。

● **夏時間開始**

サマータイム開始日を入力します。

● **夏時間終了**

サマータイム終了日を入力します。

● **夏時間調整**

サマータイム期間中に調整が必要な時間を入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.4.3　メンテナンス

『メンテナンス』タブでは、設定情報のバックアップや復元、ファームウェアの更新などを行う事ができます。



● **工場出荷時設定（ネットワーク設定を含む）**

『工場出荷時設定』ボタンを押すと、本機を工場出荷時の設定状態に戻します。

※ネットワーク設定も初期化されるため、再度本機にアクセスするには UPnP 機能や IP Wizard II を使用して本機を検索する必要があります。

● **工場出荷時設定（ネットワーク設定を除く）**

『デフォルトの設定』ボタンを押すと、ネットワーク設定を除いて本機の設定を初期状態に戻します。

●バックアップ設定

『バックアップの設定』ボタンを押すと、本機の設定ファイルを PC に保存することができます。

●修復設定

『参照』ボタンを押して PC に保存された設定ファイルを選択し、『設定修復』ボタンを押すと本機の設定状態を復元します。

『Reset』ボタンを押すと設定ファイルの選択状態をクリアします。

●ファームウェア更新

『参照』ボタンを押して PC に保存されたファームウェアを選択し、『ファームウェアの更新』ボタンを押すと本機のファームウェアを更新します。

『Reset』ボタンを押すとファームウェアの選択状態をクリアします。

●マシンを再起動

『再起動』ボタンを押すと、本機を再起動します。

2.5 - 映像設定

2.5.1　共通設定

『共通設定』タブでは、映像にテロップを挿入する設定やビデオプロフィールの設定を行う事ができます。



●文字画面表示

テロップとして表示したい項目を、日付 / 時間 / テキストから選択します。テキストでは 0 ～ 20 文字の範囲で任意の半角英数文字を指定することができます。

※複数の項目を同時に選択して表示することができます。

※テロップは映像の左上から表示されます。表示位置を変更することはできません。

●ビデオのプロフィール

VGA Multi-Profile：

VGA / QVGA / QQVGA の MPEG4 形式と MotionJPEG 形式が選択可能になります。

Mega Multi-Profile：

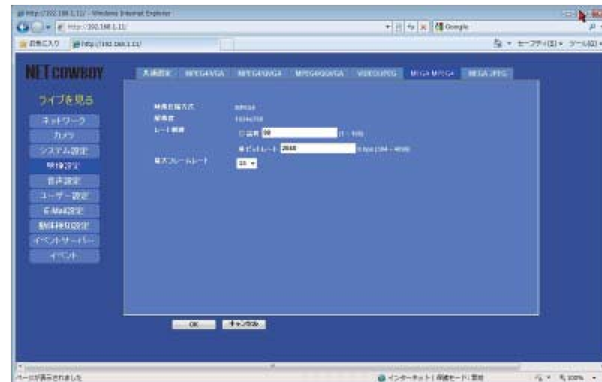
XGA の MPEG4 形式と SXGA の MotionJPEG 形式が選択可能になります。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.5.2　各解像度ごとの設定

『MPEG4 / VGA』タブ、『MPEG4 / QVGA』タブ、『MPEG4 / QQVGA タブ、『VIDEO / JPEG』タブ、『MEGA MPEG4』タブ、『MEGA JPEG』タブでは、それぞれの解像度ごとの設定を行う事ができます。

VGA / QVGA / QQVGA の MotionJPEG 形式時の設定は『VIDEO / JPEG』タブ、XGA の MPEG4 形式時の設定は『MEGA MPEG』タブ、SXGA の MotionJPEG 形式時の設定は『MEGA JPEG』タブで行います。



●映像圧縮方式

選択している解像度の映像圧縮方式が表示されます。

●解像度

選択している解像度のドット数が表示されます。

※『VIDEO / JPEG』タブのみプルダウンメニュー表示となります。

●レート制御

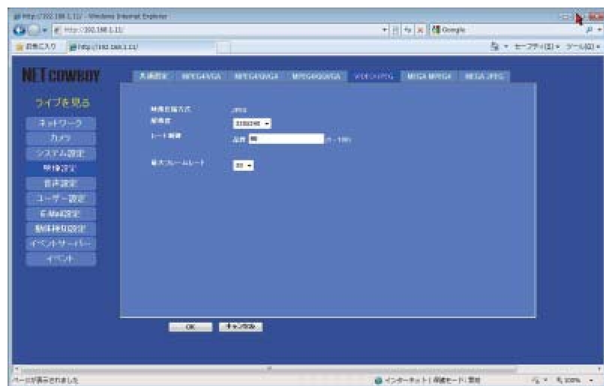
映像の画質を『品質』または『ビットレート』のいずれかで設定することができます。

※『VIDEO / JPEG』タブおよび『MEGA JPEG』タブでは『品質』による設定のみが可能です。『ビットレート』欄は表示されません。

●最大フレームレート

映像の最大フレームレートをプルダウンメニューから選択して設定します。

『VIDEO / JPEG』タブでは『解像度』項目はプルダウンメニューとして表示され、VGA / QVGA / QQVGA から選択して設定します。

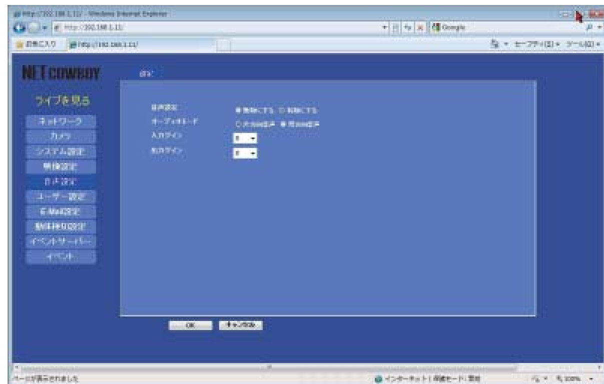


『共通設定』タブの『ビデオのプロフィール』項目で『VGA Multi-Profile』が選択されている場合、ブラウザ閲覧画面の『ビデオのプロフィール』メニューには VGA / QVGA / QQVGA の MPEG4 形式と、『VIDEO / JPEG』タブの『解像度』項目で設定した解像度の MotionJPEG 形式が表示され使用することができます。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.6 - 音声設定

『音声設定』メニューでは、本機の音声入出力機能に関する設定を行う事ができます。



●音声設定

無効にする：音声入出力機能を使用しません。

有効にする：音声入出力機能を使用します。

●オーディオモード

片方向音声：

内蔵マイクのみを使用し、音声出力端子を使用しません。

双方向音声：

音声出力端子を使用して、接続されたイヤホンやアンプ内蔵スピーカーを通して PC のマイクなどからの音声を出力することができます。

●入力ゲイン

内蔵マイクのゲイン調整を行います。

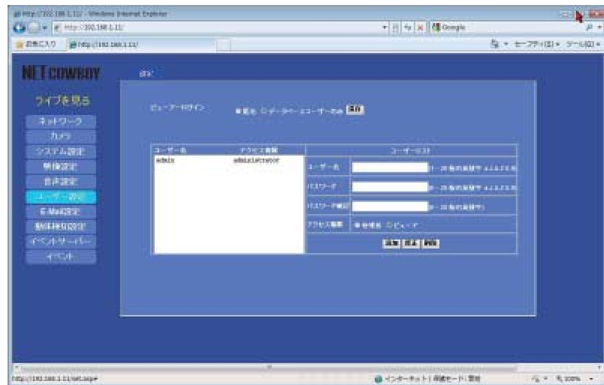
●出力ゲイン

音声出力端子のゲイン調整を行います。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.7 - ユーザー設定

『ユーザー設定』メニューでは、本機にアクセスするユーザーアカウントに関する設定を行う事ができます。



2.7.1　匿名ユーザーのアクセス制限

『ビューアーログイン』で『匿名』を選択すると、本機のブラウザ閲覧画面へのアクセス制限が解除されます。『保存』ボタンを押すと設定が保存されます。

匿名でのアクセスを許可した場合、意図せぬ利用者に本機の映像・音声を閲覧されてしまうため、特別な理由が無い限りは『データベースユーザーのみ』を選択することを強く推奨します。

※撮影範囲内に本機の所有者以外の個人や所有物が存在する場合、不特定多数が自由に映像を閲覧できる状況を構築・運営・公開することはプライバシーの侵害行為とされる場合があります。匿名ユーザーのアクセス制限を行わない場合は、第三者のプライバシーを侵害しないよう十分にご注意ください。

2.7.2　ユーザーを追加する

『ユーザー名』と『パスワード』『パスワード確認』欄に必要事項をそれぞれ 20 文字以内の半角英数文字で入力します。
※記号は使用できません。

『アクセス権限』で『管理者』または『ビューア』を選択します。『管理者』を選択すると、作成されるユーザーは本機の設定画面にアクセスすることが許可され、『ビューア』を選択した場合には本機のブラウザ閲覧画面にのみアクセスすることが許可されます。

『追加』ボタンを押すと、ユーザーが作成・追加されます。

2.7.3　ユーザー情報を修正する

登録されているユーザーアカウントのパスワードや権限を修正するには、修正を行いたいユーザーアカウントを選択して『パスワード』『パスワード確認』『アクセス権限』欄を修正して、『修正』ボタンを押します。

※『ユーザー名』は修正することができません。

2.7.4　ユーザーを削除する

登録されているユーザーアカウントを削除するには、削除したいユーザーアカウントを選択して『削除』ボタンを押します。

※初期設定の管理者アカウント（admin）は削除できません。

2.8 - E-Mail 設定

『E-Mail 設定』メニューでは、IP 通知機能やイベント機能など本機からメールを送信するために使用するメールアカウントに関する設定を行う事ができます。



本機は『E-Mail』設定で指定されたメールアカウントを使用して、メールの送信を行います。

● **SMTP サーバー**

送信用に使用する SMTP サーバーのアドレスを入力します。

● **SMTP ポート**

SMTP サーバーに接続するポートを入力します。

● SMTP 認証

無効にする：メール送信時に SMTP 認証を行いません。

有効にする：メール送信時に SMTP 認証を行います。

※ SMTP 認証を使用する場合、『認証ユーザー名』と『認証パスワード』を設定してください。

●認証ユーザー名

SMTP 認証用のユーザー名を入力します。

●認証パスワード

SMTP 認証用のパスワードを入力します。

●メール送信元

メール送信に使用するメールアカウントを入力します。

※ここで設定したメールアカウントが送信者となります。

●メール送信先

イベント通知時のメール送信先を入力します。

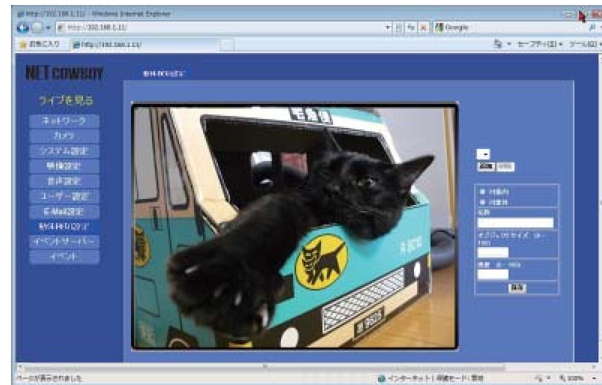
●メール件名

イベント通知時に使用するメールの件名（Subject）を入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.9 - 動体検知設定

『動体検知設定』メニューでは、動体検知を行う範囲や感度などに関する設定を行う事ができます。



●追加 / 削除

『追加』ボタンを押すと、動体検知の範囲を指定するための枠が表示されます。範囲指定範囲は最大 4 つまでプリセットとして保存することができます。

『削除』ボタンを押すと、選択中のプリセットを削除します。

●対象内 / 対象外

対象内：指定した範囲を動体検知範囲として使用します。

対象外：指定した範囲を除く範囲を動体検知範囲として使

用します。

●名称

プリセットの名称を入力します。

●オブジェクトサイズ

1 ～ 100 の範囲で対象物の大きさを指定します。

オブジェクトサイズとして大きい数値をしていすると、比較的大きめの対象物の動きを検出します。

小さい数値を指定すると僅かな動きでも検出することができます。

※極端に小さい数値を指定すると、必要以上に動体検知イベントが多発します。

●感度

1 ～ 100 の範囲で動体検知の感度を指定します。

※極端に大きい数値を指定すると、必要以上に動体検知イベントが多発します。

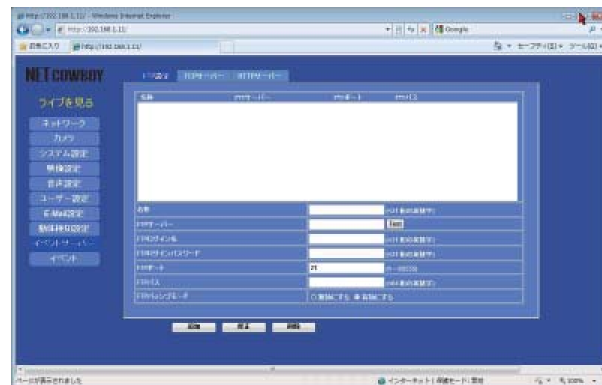
●保存

『保存』ボタンを押すと、設定中の内容を保存します。

2.10 - イベントサーバー

2.10.1　FTP 設定

『FTP 設定』タブでは、イベント発生時に接続する FTP サーバーに関する設定を行う事ができます。



●名称

接続設定の名称を入力します。

● FTP サーバー

接続する FTP サーバーのアドレスを入力します。

● FTP ログイン名

ログイン ID を入力します。

● FTP ログインパスワード

ログインパスワードを入力します。

● FTP ポート

FTP サーバーとの通信に使用するポート番号を入力します。

● FTP パス

イベント発生時に動画または静止画を保存するための FTP サーバー上のパスを入力します。

● FTP パッシブモード

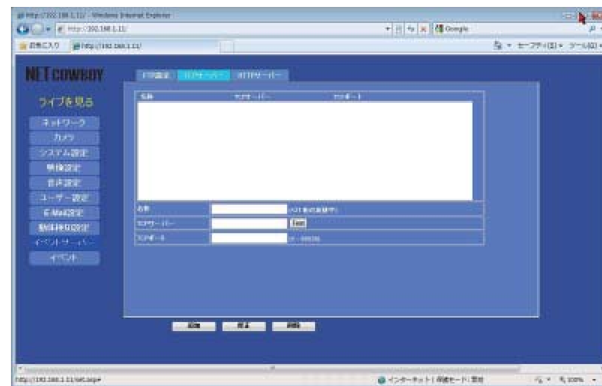
FTP サーバーへの接続時、パッシブモード（PASV）を使用する場合には『有効にする』を選択します。

※接続する FTP サーバーへの接続時にパッシブモードが使用できるか否かについては、FTP サーバーの管理者に確認してください。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『追加』ボタンを押して設定を適用します。設定を修正した場合には『修正』ボタンを押します。

2.10.2　TCP サーバー

『TCP サーバー』タブでは、イベント発生時に接続する TCP サーバーに関する設定を行う事ができます。



●名称

接続設定の名称を入力します。

● TCP サーバー

接続する TCP サーバーのアドレスを入力します。

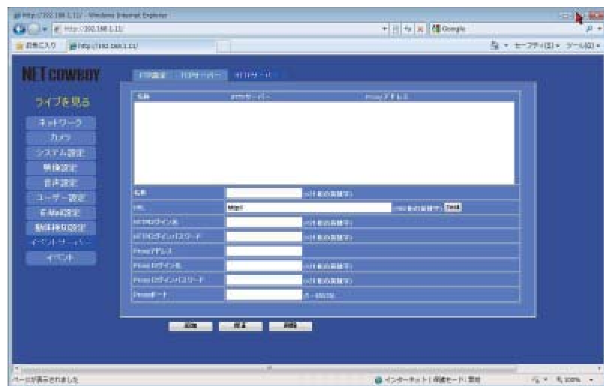
● TCP ポート

接続する TCP ポート番号を入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.10.3　HTTP サーバー

『HTTP サーバー』タブでは、イベント発生時に接続する HTTP サーバーに関する設定を行う事ができます。



●名称

接続設定の名称を入力します。

● URL

接続する HTTP サーバーのアドレスを入力します。

● HTTP ログイン名

接続にログインを必要とする場合は、ログイン名を入力します。

● HTTP ログインパスワード

接続にパスワードを必要とする場合は入力します。

● Proxy アドレス

Proxy サーバーを経由して接続を行う場合は、Proxy サーバーのアドレスを入力します。

※本機からの送出される HTTP リクエストではホスト名が省略されているため、HTTP サーバーによっては『client sent HTTP/1.1 request without hostname』として正常に処理されないことがあります。この現象を回避するため、HTTP 通知を使用する場合は Proxy サーバーを使用することを強く推奨します。

● Proxy ログイン名

接続にログインを必要とする場合は、ログイン名を入力します。

● Proxy ログインパスワード

接続にパスワードを必要とする場合は入力します。

● Proxy ポート

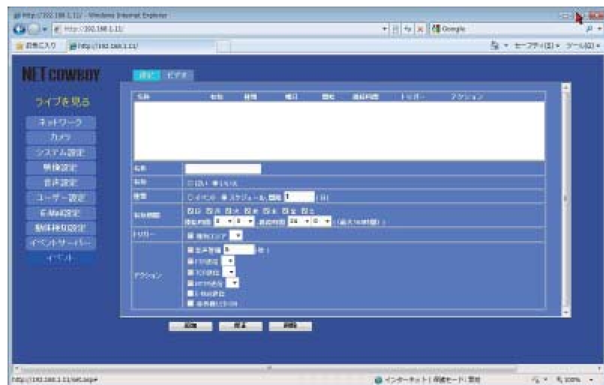
Proxy サーバーへの接続に使用するポート番号を入力します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.11 - イベント

2.11.1　設定

『設定』タブでは、イベントの実行条件やイベント発生時に実行するアクションの設定を行う事ができます。



●名称

イベントの名称を入力します。

●有効

はい：イベントを有効にします。

いいえ：イベントを無効にし、実行されないようにします。

●種類

動体検出機能により起動するイベントの場合には『イベント』を、指定された期間に実行するイベントの場合には『スケジュール』を選択します。

『スケジュール』イベントの場合は、『間隔』欄にイベントを実行する間隔を分単位で入力します。

●有効期間

イベントを有効にする期間を設定します。

イベントを有効にする曜日をチェックし、イベントを有効にする開始時間と終了時間を設定します。

※月～金の 10:00 ～ 18:00 にイベントを実行する場合、月～金までの曜日にチェックを入れ、開始時間に 10:00、終了時間に 18:00 を指定します。

●トリガー

イベント発生のトリガーとして使用する動作検知範囲を選択します。『動体検知設定』メニューで作成したプリセット名を選択して指定します。

※『種類』で『スケジュール』を選択した場合、トリガーの設定を行う事はできません。

●アクション

音声警報：

イベント発生時、指定された秒数本機の音声出力端子から警報音を発します。

FTP 送信：

イベント発生時、FTP サーバーに撮影した動画または静止画ファイルをアップロードします。

接続先 FTP サーバーは、『イベントサーバー』メニューで設定した接続先から選択します。

TCP 送信：

イベント発生時、TCP サーバーにアクセスします。

接続先 TCP サーバーは、『イベントサーバー』メニューで設定した接続先から選択します。

HTTP 送信：

イベント発生時、HTTP サーバーにアクセスします。

接続先 HTTP サーバーは、『イベントサーバー』メニューで設定した接続先から選択します。

E-Mail 送信：

イベント発生時、『E-Mail 設定』で指定されたメールアドレスに撮影した動画または静止画ファイルを添付して送信します。

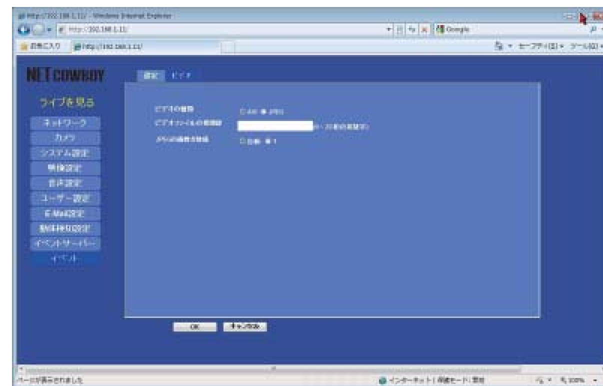
赤外線 LED ON：

イベント発生時、本機の赤外線 LED を点灯します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。

2.11.2　ビデオ

『ビデオ』タブでは、イベント発生時に撮影する動画 / 静止画に関する設定を行う事ができます。



●ビデオの種類

AVI：

イベント発生時、映像を動画ファイルとして保存します。

※映像を動画ファイルとして保存する場合、解像度設定によっては 1 ファイルごとの撮影時間が数秒程度と短くなる場合があります。

JPEG：

イベント発生時、映像を静止画ファイルとして保存します。

●ビデオファイルの接頭辞

保存するファイル名の接頭辞を 0 〜 20 文字の半角英数文字で指定します。

必要な項目の設定が完了したら、画面下側の『OK』ボタンを押して設定を適用します。